

(対象期間：2022/3/7～2022/3/11)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年3月11日)



【株式市場】

週初、リスク回避姿勢を背景に海外市場が下落した流れを受けて弱含みました。米国などのロシア産輸入禁止措置を受けて石炭や金属鉱業株などが急騰した一方で、消費関連株などはコスト上昇の懸念から下落しました。8日も特に新しい材料が無い中で続落となりました。9日は不動産や建設株などの出遅れ銘柄に買いが入り上昇しました。10日は石炭や鉱工業株が利益確定売りで下落した一方で、政府の規制緩和策を受けて小売株や不動産株などが上昇しました。11日は利益確定売りで反落しました。インドネシア株式市場は前週末比で下落しました。

2022/3/4	2022/3/11	変化率
6,928.33	6,922.60	-0.08%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年3月11日)



【債券市場】

週初、ウクライナ情勢の緊迫化により海外市場の債券利回りが上昇した流れを受けて、インドネシアの債券利回りも上昇（価格は下落）しました。8日に行われたイスラム債入札は投資家からの需要の減速が見られ低調となり、発行額は当初の予定額を下回りました。リスク回避姿勢が強まる中で外国人投資家の資金流出を背景にインドネシアの債券利回りは上昇しました。9日はリスク回避姿勢の一服感から買い戻しの動きが見られ利回りは低下しました。10日は株式市場が回復する中で債券市場にも外国人投資家からの資金流入がみられ利回りは低下しました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

2022/3/4	2022/3/11	変化幅
6.679	6.721	+0.042

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年3月11日)



【為替市場】

週初、ルピアはリスク回避姿勢の高まりから下落しました。しかし、株式市場への外国人投資家からの持続的な資金流入や国内旅行の制限緩和、バリ島への隔離なしでの入国再開が好感されたほか、堅調な商品市況を背景に上昇しました。週末にかけては狭いレンジでの推移となりました。ルピアは前週末比対米ドル、対円ともに上昇しました。

2022/3/4	2022/3/11	変化率
0.8019	0.8174	+1.93%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国プルデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるプルデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。